

愛しいあなたへ……。

竹中茂子

広島県・31歳・訪問介護員

拝啓 お元気ですか？ 私は、元気です。もうすぐ、1999年もかけ足で、新しい年へとむかっています。本当にあっという間。

あなたと結婚して、早いもので、10年の年月がたちました。子どもも9歳です。今すぐ、英語のお勉強に興味を持って、「頑張っていますよ。」

「ねえーあなた。私と出逢えて幸せ？」

って聞いたのに、何故あなたは、何も答えてくれなかったの？

私、すごくショックで、その日は眠れなかったのよ。仕事が急にそがしくなってから、会話の数も少なくなり、あなたと一緒にいると、息がつまりそうになる。

私のこの想いを、あなたに泣きながらぶちまけて、心の中をスッキリさせたい。

それなのに、あなたの前に出ると、言葉がのどにつまって、出てこないの。

あなたのやさしい言葉。思いやりの言葉。それだけで、私の心は、あたたかくなれるのに……。ただそれだけでいいのに……。

それさえも望んではいけないのだろうか？

ずうっと私は、家族の中の孤独と戦ってきました。子どものため、家族のために、がまんしてきました。でも、そのがまんも終わりにしようと思います。

そう思ったとたん、私は、自分の人生は自分が主役なんだってことに気がついたのです。

愛しいあなた……。今まで、愛してくれて、ありがとう。

これからは、自分の道を、ゆっくりあせらず歩いて行きます。

さようなら。

敬具

※結婚して10年。子どもも9歳となり手もかからなくなった。なのに夫婦の会話が全くなり、すれ違いの日々。妻はさみしきをつのらせる。そして別れを決意する。